

## 第260回

## 荒川の人

町屋生まれのわんぱく力士は今や、  
学生横綱を狙う早大相撲部の大黒柱に!

早稲田大学相撲部 主将 **橋本 侑京**さん

【プロフィール】早稲田大学スポーツ科学部4年。足立新田高校3年の時に東京都代表として出場した国体では団体戦3位の好成績を取る。2017年に行われた第44回東日本学生個人体重別選手権（135キロ未満級）で優勝、続く第42回全国学生相撲個人体重別選手権大会でも優勝し、創部史上初の快挙を達成した。同大相撲部の主将、エースとしてチームを牽引する。座右の銘は「時は金なり」。178cm 125kg。



これまでに4人の学生横綱を輩出してきた大学相撲の古豪、早稲田大学相撲部。102年の伝統を有する相撲部の大黒柱として、チームをまとめる橋本侑京さんは荒川の街で育った生粋の町屋っ子です。早稲田大学東伏見キャンパス（西東京市）内にある相撲道場で、稽古を終えたばかりの橋本さんにお話を伺いました。

### 大先輩・千代大龍は硬くて重かった！ わんぱく相撲無敵の少年が早大に進むまで

ご実家が町屋の地で80年以上にわたって日本料理屋さんを営んでいたという橋本さんは、三人兄弟の末っ子として育ちました。2番目のお兄さんの影響で第四峡田小学校在学時から相撲を始めると、恵まれた体格を武器にわんぱく相撲では負け知らず。相撲道場でメキメキとその実力をつけていきました。「小学6年生の頃にはすでに100キロはあったと思います。回転寿司に行って、僕一人で50皿食べて板前さんに止められたこともありました(笑)」

高校時代は国体の東京都代表に3年連続で選出され、3年生の時に団体戦3位に貢献。相撲と並行して打ち込んでいたアメリカンフットボールで培った俊敏性は相撲にも生かされているそうです。幼い頃から漠然と憧れを抱い



土俵の外では終始笑顔がこぼれますが、稽古中の顔つきは真剣そのもの。

ていた早稲田大学。高校の先輩が早稲田の相撲部に入部した頃から、その憧れがより強いものになっていきます。監督に大学相撲の強豪を勧められるも憧れの早稲田へ。「強豪校は同学年に数十人の部員がいることもありますから試合に出ること自体が困難です。僕は試合に出て、勝つために練習をしたかった。ひたむきに相撲に没頭できる早稲田の雰囲気が自分には合っていたと思います」

ちなみに角界で活躍中の千代大龍関は荒川区出身で母校・足立新田高校相撲部の先輩にあたります。高校生の頃に土俵で胸を借りたことがあったそうです。「硬くて重く、まるで岩にぶつかったような感覚でした。まったく歯が立たなかったのを鮮明におぼえています」

### 土俵際で踏ん張った初めての挫折 部員一丸で挑み、勝利を手にした団体戦

輝かしい実績を引っ提げて早稲田大学相撲部の門を叩きますが、橋本さんには試練が待っていました。「試合どころか練習でも自分の力が通用しませんでした」と出鼻をくじかれた入部当時は振り返ります。ケガも重なり心身ともにどん底に陥りますが、そこから学生相撲で戦える体を一から鍛え直す日々が始まりました。「ポキッと鼻を折られましたね(笑)。自分の実力なら大学でも十分やれるんじゃないかという気持ちはどこかにありました」

現在、相撲部は部員7名と女子マネージャー2名が在籍。団体戦を戦い抜くギリギリの人数ですが、橋本さんは部員の少なさを前向きに捉えています。「他の運動部に助っ人を頼んで大会に出場する苦労もあります。それでも人数が少ない分、互いの距離感が近いので意思疎通がしやすいですね。主将として締める時は締めますが、僕自身厳しい上下関係が苦手なので和気あいあいとした雰囲気を大切にしています」

相撲部に入部して一番印象に残っている出来事を尋ね

ると、顔をほころばせながら「9年ぶりに東日本学生相撲選手権大会1部に返り咲いた2年前の団体戦での勝利」を挙げてくれました。「2部だと出場できない大会もあり、1部昇格は悲願でした。2年次に相撲部初となる第44回東日本学生個人体重別選手権での優勝を果たせたことは大きな自信につながりましたが、みんなで勝ち取った1部昇格は本当にうれしかったですね」

### 学生相撲の頂へ待ったなし！ 全身全霊を賭けて稽古に邁進する日々

稽古は月曜を除く週6日。大学の講義終了後、午後7時から9時まで土と汗にまみれながら技と力を磨きます。橋本さんは稽古中も率先して声を出し、部員たちを鼓舞。「団体戦でユキヒロが勝つとチームは一気に勢いづきます。ガッツを前面に出した押し相撲を得意にしていますが、相手の出方に応じて臨機応変に戦い方を変えられることが彼の強みですね」と相撲部を率いる室伏監督は、ムードメーカーでもある主将に全幅の信頼を寄せます。

1部残留をかけた東日本学生相撲リーグ戦（10月）に続いて、大学相撲の頂点を争う全国学生相撲選手権大会（11月）、最強アマチュアの称号を狙う猛者たちが集結する全日本相撲選手権大会（12月）など、橋本さんと早稲田大学相撲部にとって重要な大会が今まさに始まろうとしています。「11月のインカレは団体戦で3位以上が目標です。個人戦では優勝して学生横綱になってみせます。学生生活最後の全日本相撲選手権（天皇杯）でアマチュア横綱の称号を手にして有終の美を飾りたいです」

大学卒業後は一般企業への就職が内定済み。これからは指導を行う立場で相撲に携わっていきたいとのこと。とにかく今は目の前の大きな目標に全身全霊をかけて、ぶつかるのみ。相撲人生に一片の悔いも残すまいと、橋本侑京さんの精進の日々は続きます。

## JOHOKU ATHLETES CLUB



Johoku Athletes Club  
WEB サイトリニューアル!

夢をかなえるパートナー  
城北信用金庫

~木曾路のとらふぐ~ 期間：~3月31日(火)

ふぐ唐揚げ 1,300円(税込1,430円)

てっさ 大皿盛り(3~4人前) 3,500円(税込3,850円) ハーフ(1~2人前) 2,000円(税込2,200円)

焼きふぐ 1,800円(税込1,980円)

ひれ酒 800円(税込880円)

お昼の集い 奈良井 3,000円(税込3,300円) ならい ※写真はイメージです。季節により内容が異なります。

ご宴会ご予約承ります。  
※無料送迎バスをご用意いたします。※ご予算ご相談ください。

木曾路南千住店  
荒川区南千住 5-6-15  
電話：03-5850-5567

グラスドリンク人数分プレゼント  
●2,200円以上の料理をご注文に限りです。  
●グラスドリンクを人数分プレゼントいたします。  
●他券との併用はできません。  
●ご飲食前に係員にお渡しください。  
●2019年11月30日まで有効  
●木曾路南千住店のみ有効